

「事業名：東北大学の復興知を活かす葛尾村の創造的復興」 2020年度補助事業の実績・成果

東北大学 連携市町村：葛尾村

連携市町村との協定締結日：平成28年10月21日

現地拠点：双葉郡葛尾村大字落合字菅ノ又14-2（葛尾村立葛尾中学校1F）

事業のポイント

東北大学・東北復興農学センターでのバックヤード・アダプションフェーズの教育、研究活動を実施し、アタックフェーズ（被災地で行動・活動）を担える人材を育成する。また、その質の高い教育・活動コンテンツを整備する。

今年度の活動実績

1. 葛尾村等の被災地訪問および体験活動の実施

目的：福島県農業総合センター、葛尾村、浪江町を訪問し、農業や地域の復興状況の理解を深める（エクステンションツアー）。また、農業体験（稲刈り）を実施し現地との交流も図った。

参加人数：エクステンションツアー（46名）、稲刈り体験（25名）

2. カラシナ栽培と野生動物生態調査の実施

目的：葛尾村で発生しているイノシシの侵入被害対策のため、圃場周辺の生態調査と、辛み成分を持つカラシナ栽培を実施した。（参加人数：5名）

3. シンポジウム「震災から10年：『復興農学』の成果と課題」開催における活動報告

目的：当センター所属教員および葛尾村役場職員等を講演者として、復興活動、復興知事業・研究・教育活動の経過や成果を報告。震災からの研究・教育活動を報告して振り返る。（参加人数：99名）



被災地訪問



シンポジウムでのパネルディスカッション



今年度の成果

- ・講義内容のアーカイブ化（復興農学テキスト）の完成、教育コンテンツの充実化
- ・アダプション活動（被災地視察、現地農業体験）による地域への順応支援
- ・葛尾村実習水田で栽培した「里山のつぶ」（米）配布による活動の理解と葛尾村PR